

NISSHA

メディカルテクノロジー事業
スモールミーティング

2024年9月9日

本日の内容

- 当社の事業・対象市場、中長期の経営戦略
- 当社の医療機器CDMOの概要
- アメリカの医療機器CDMO市場

当社の事業・対象市場、中長期の経営戦略

当社の事業（製品） ・ 市場ミックス

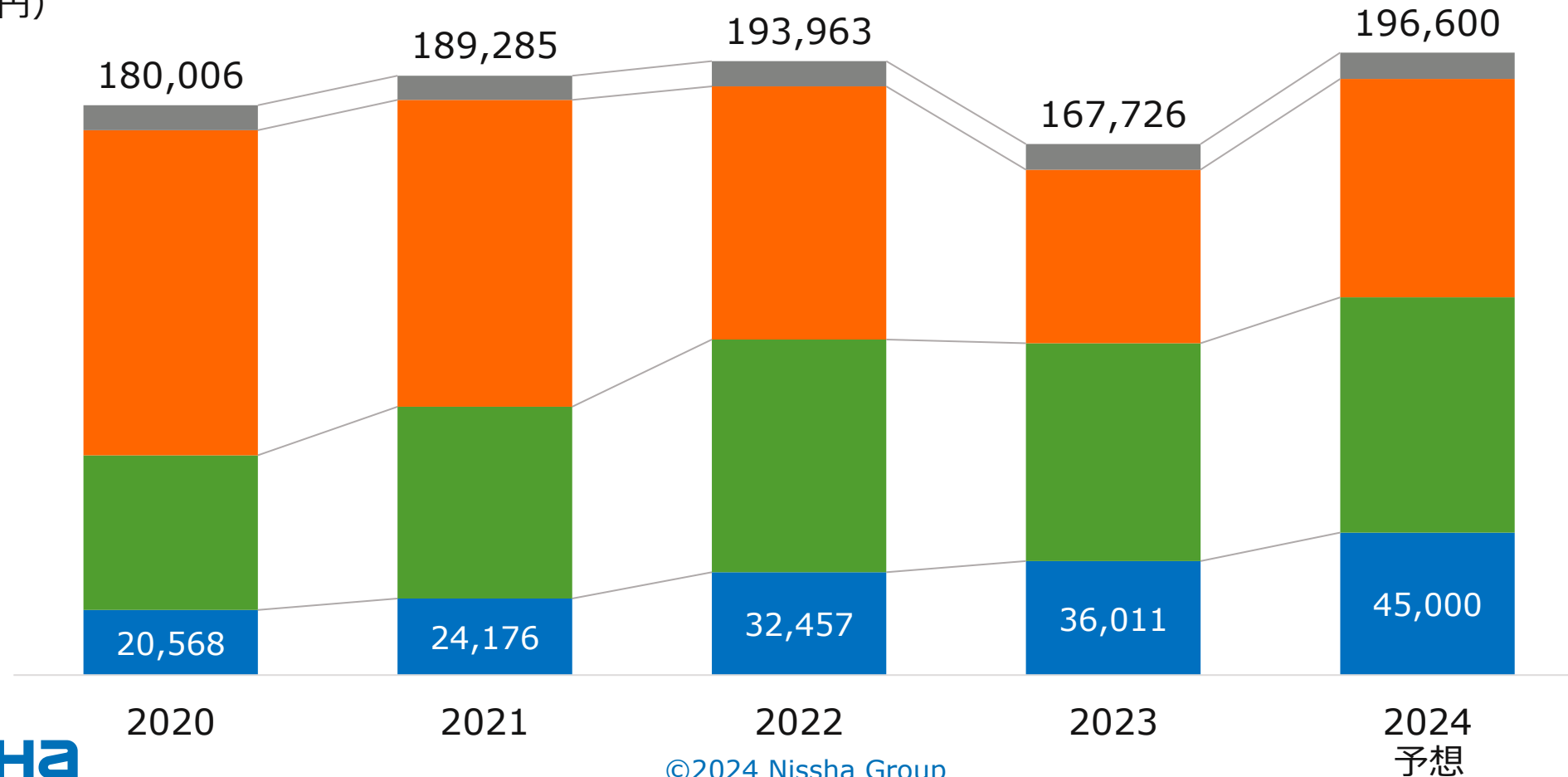
対象市場		メディカル	モビリティ	サステナブル資材	IT機器
事業（製品）					
産業資材	産業資材	射出成形品	スター 加飾・機能製品 (内装・外装)	キャッシュカウ 蒸着紙 プロブレムチャイルド サステナブル成形品	—
	デバイス	医療機器の小型化・ ロボット化に役立つ センサー技術	フィルムタッチセンサー 外装機能部品	—	キャッシュカウ フィルム タッチセンサー
	メディカル テクノロジー	スター 医療機器CDMO	—	—	—

事業別 売上高推移

- メディカルテクノロジー事業の売上高は450億円に達する見通し

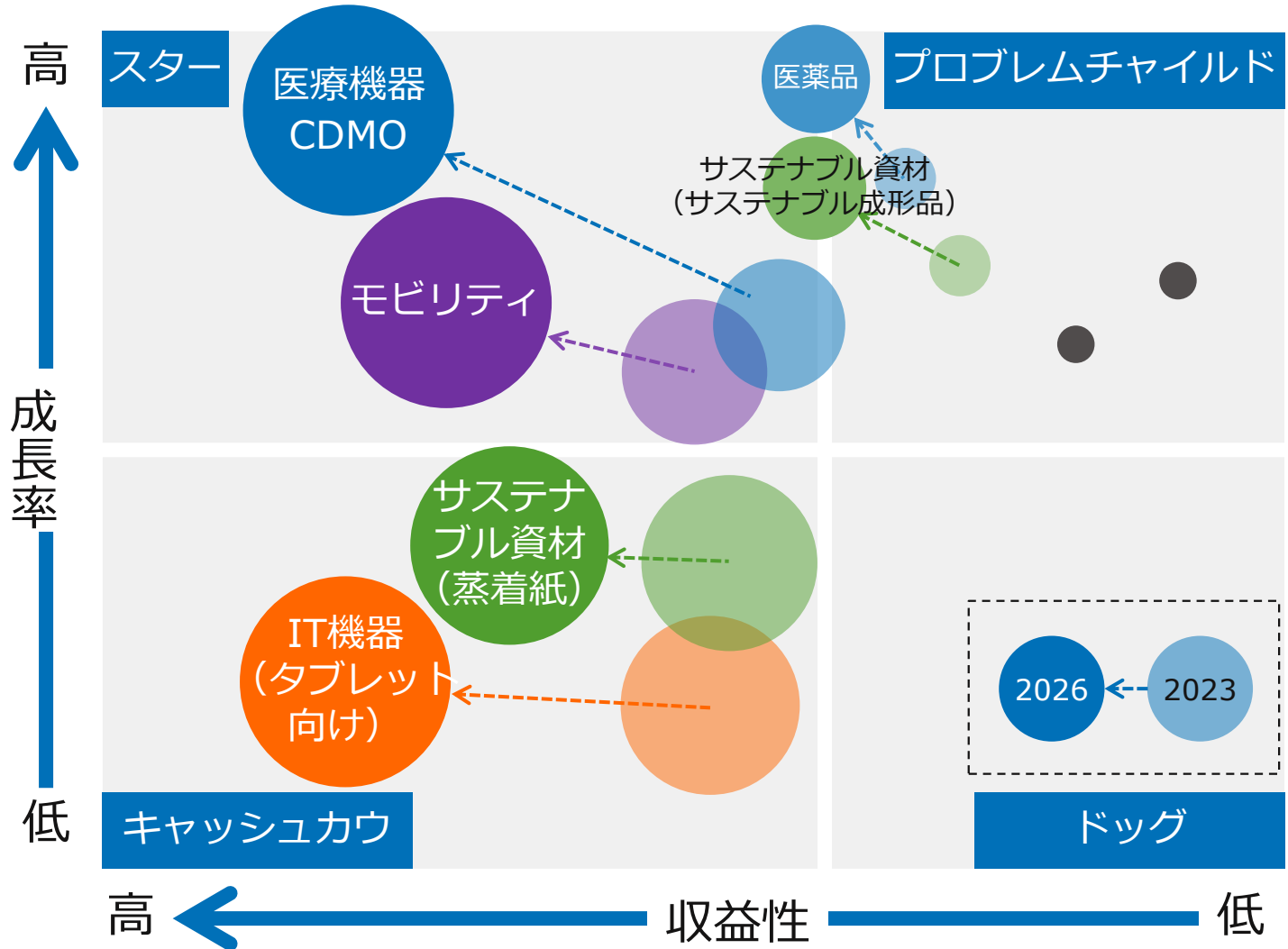
■ メディカルテクノロジー ■ 産業資材 ■ デバイス ■ その他

(百万円)



第8次中期経営計画の事業ポートフォリオ

● 利益率の向上を実現するバランスの取れた配置



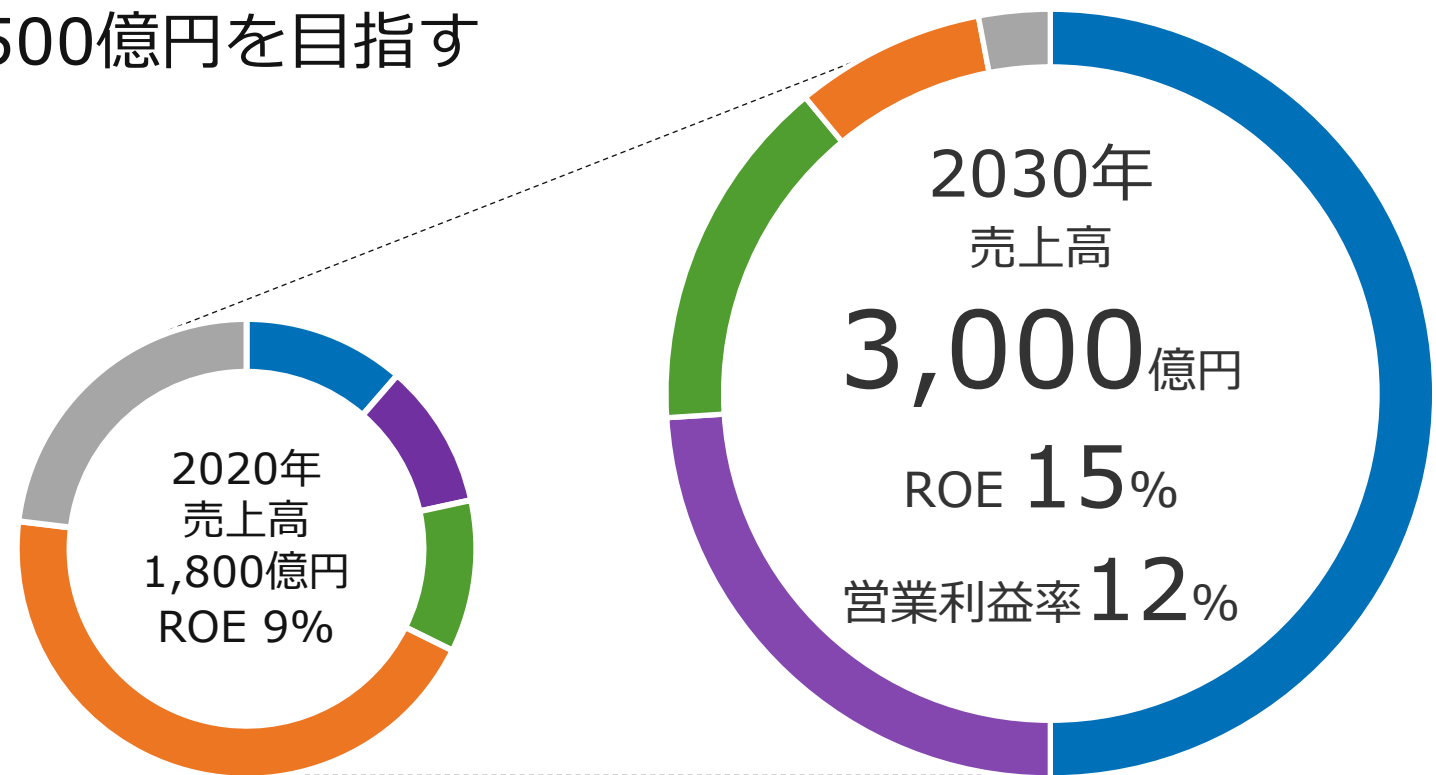
● 重点3市場にリソースを集中

事業	対象市場	売上高	利益率	投資
メディカルテクノロジー	医療機器 CDMO	↗	↗	↗
産業資材	モビリティ	↗	↗	↗
	サステナブル資材 (蒸着紙)	↗	↗	→
	サステナブル資材 (サステナブル成形品)	↗	↗	↗
デバイス	IT機器	→	↗	↘

サステナビリティビジョン (2021年2月公表)

多様な技術や人材能力の結集・融合により、メディカル・モビリティ・環境に関わるグローバルな社会課題の解決に貢献し、人々の豊かな生活を実現する。

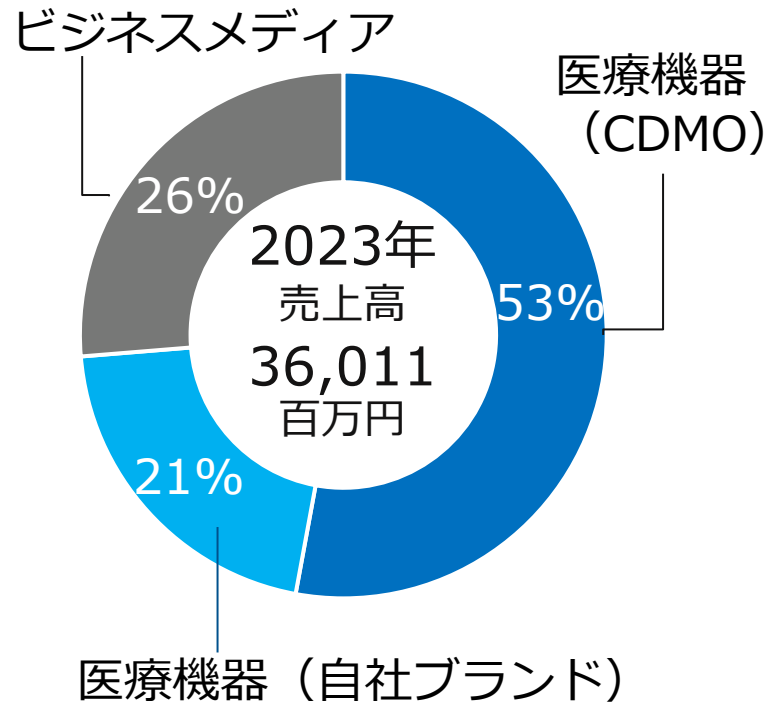
メディカル分野の事業で売上高1,500億円を目指す



■メディカル ■モビリティ ■サステナブル資材 ■IT機器 ■その他

当社の医療機器CDMOの概要

メディカルテクノロジー事業の製品・サービス



医療機器CDMO※1
(開発製造受託)

NISSHA
MEDICAL TECHNOLOGIES



医療機器
(自社ブランド)

NISSHA
MEDICAL TECHNOLOGIES



ビジネスメディア

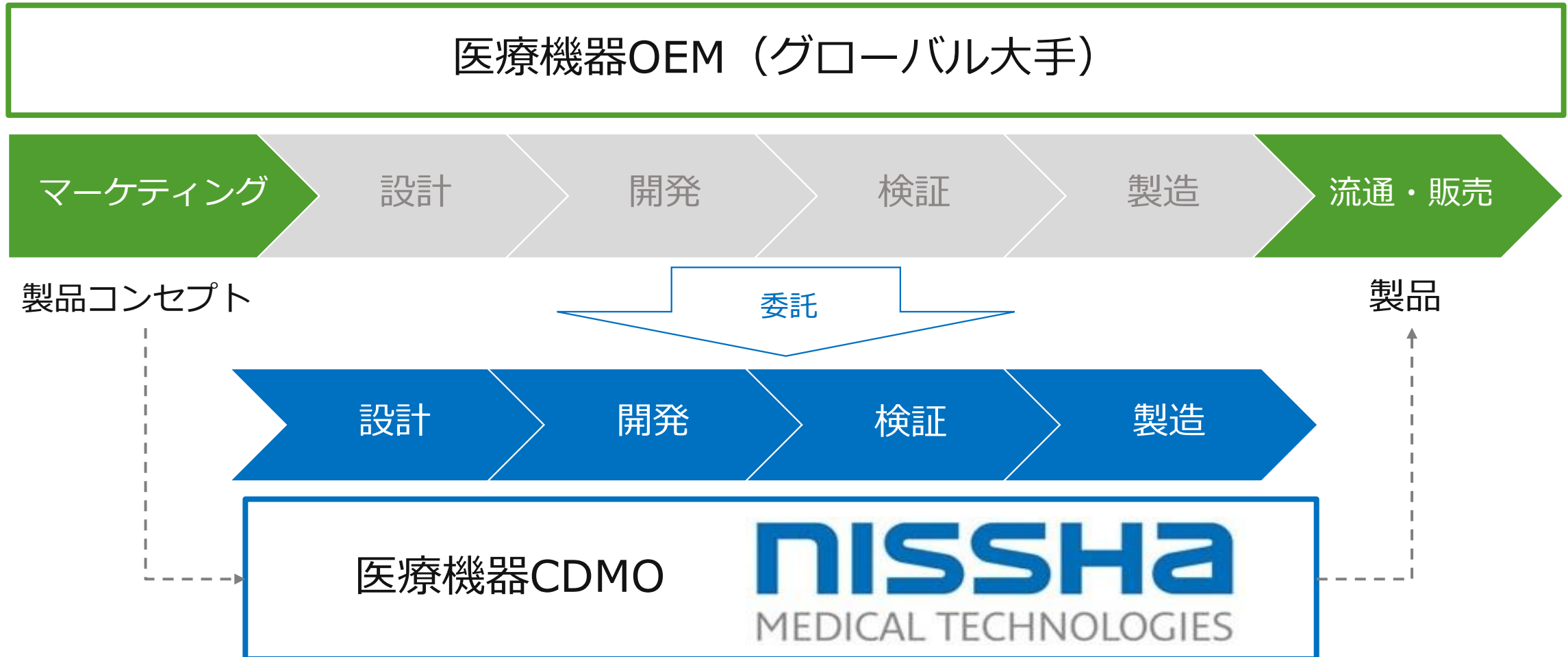
g Graphic Controls
by NISSHA



※1 CDMO : Contract Design/Development and Manufacturing Organization

※2 画像はイメージです。

医療機器CDMO：当社の貢献領域 設計～製造までのワンストップサービスを提供



医療機器CDMO：注力分野（シングルユース）

手術機器



低侵襲医療用の手術機器
内視鏡、腹腔鏡、生検用機器、
アブレーションカテーテル、手術支援ロボット、
手術ナビゲーションシステム

診療・治療機器



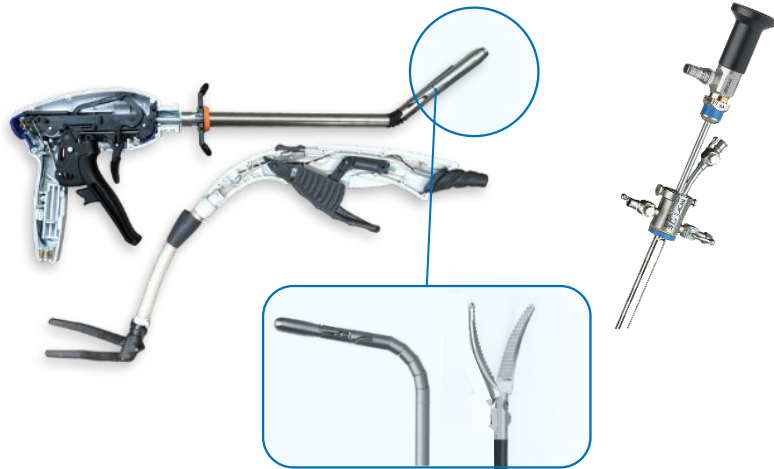
対極板

除細動電極

※画像はイメージです。

医療機器市場のニーズを捕捉

既存領域



低侵襲治療用の手術機器



医療用ウェアラブルセンサー

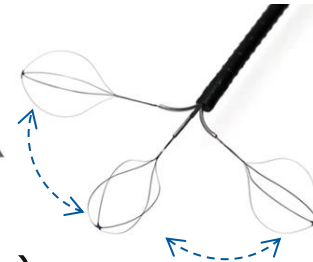
最先端のニーズ

Visualization + Navigation

M&A、事業部を越えた連携・
開発による技術の獲得・強化

● 操作性

ENDO THEIA



● 精密性（小型化）

ISOMETRIC



● センシング（事業開発室、デバイス事業部）

新領域 手術支援ロボット向け モジュール機器



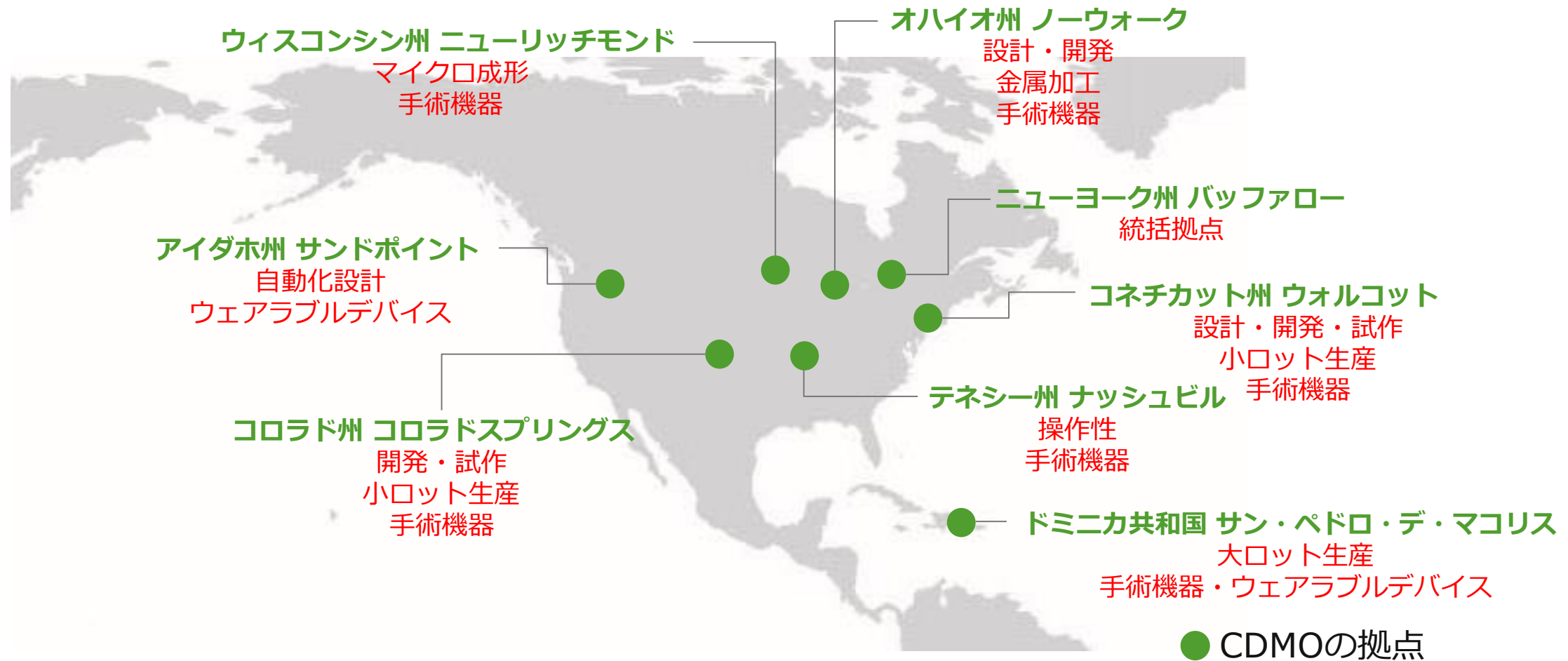
エンド
エフェクター



ヴィジュア
ライゼーション
ナビゲーション

医療先進国のアメリカを中心に拠点を展開

- アメリカの医療機器OEMに隣接し共同開発



グローバル医療機器OEMとのパートナーシップ

Medtronic

Johnson & Johnson

**Boston
Scientific**

OLYMPUS

stryker

 **Abbott**



PHILIPS



グローバル医療機器OEM TOP10社中8社との強固な取引実績

ここに表されるOEMの商標はそれぞれのOEMに帰属し、当社および当社関係会社に属するものではありません。当社および当社関係会社の製品・サービスと当該OEMの製品・サービスとの関係、関連を担保するものではありません。

アメリカの医療機器CDMO市場

医療機器OEM（アメリカ）の潮流：設計～開発～製造のアウトソーシング

OEMの 戦略の変遷 2010年以前

- 主に部品製造のアウトソーシング（CMO）
- 自社の製造資産に投資

2010年 – 2020年

- フルサイクル（設計～開発～製造）のアウトソーシングへシフト（CMOからCDMOへ）
- コアな知的資本を強化し、イノベーションが加速

2020年 – 現在

- コロナ後は、サプライチェーンの信頼性と効率性を重視
- 手術支援ロボットやスマートデバイスにおいて、技術の融合を通して能力の拡充・向上を目指す

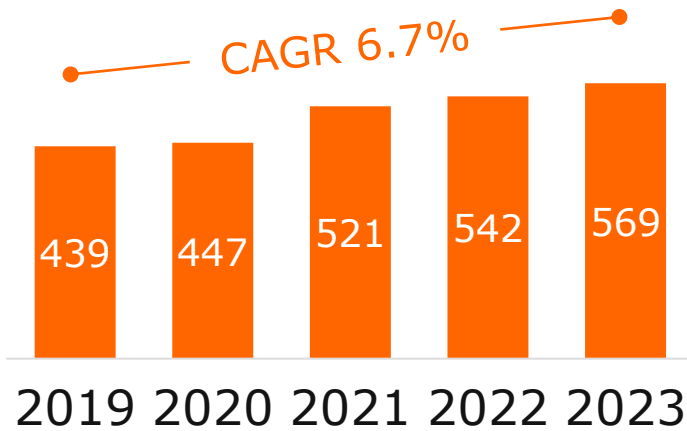


CDMOが 目指す 価値提案

- 垂直統合による医療機器の高機能化に貢献
- OEMのイノベーション活動を補完する設計・開発能力
- 新規案件やライン移管に対応できる優れた生産性・効率性の維持

高い成長率が期待できるアメリカの医療機器CDMO市場

グローバル医療機器市場 *1
(単位：10億ドル)



成長率予測

5.9% *3

(2018-2027)

アメリカの
医療機器CDMO市場 *2
(単位：10億ドル)

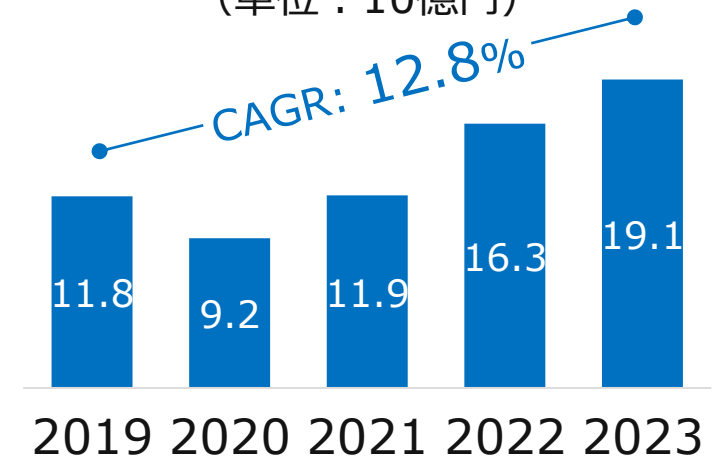


成長率予測

✓ 10.9% *4

(2018-2026)

メディカルテクノロジー事業
医療機器CDMO
(単位：10億円)



成長率予測

11-12% *5

M&Aを除く
(2023-2026)

*1, *2 出典: Arila Health "The 2023 U.S. MedTech Contract Manufacturing Report" and "The 2021 MedTech Contract Manufacturing Report"

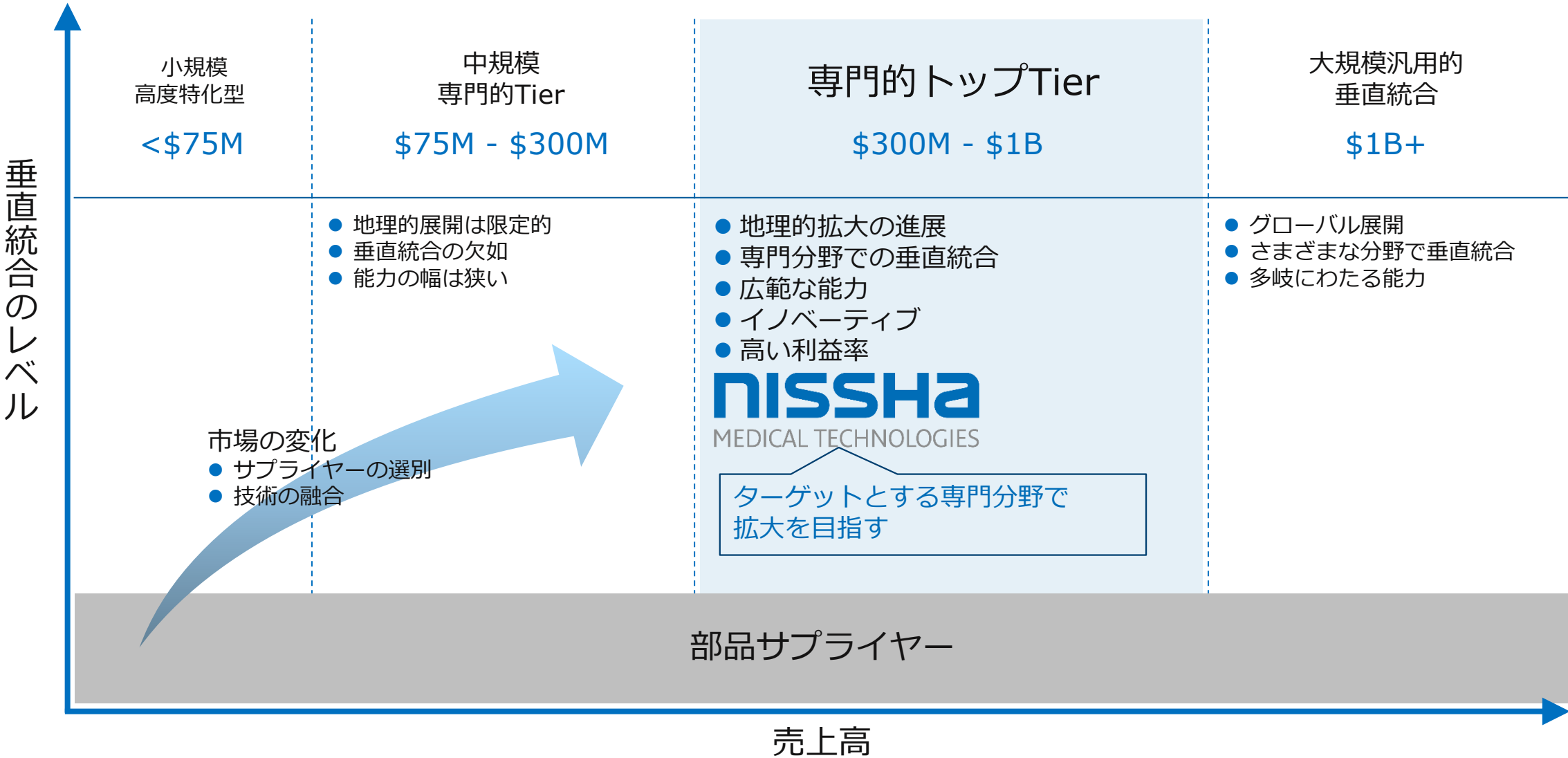
*3, *4, *5 出典: 各種資料に基づき当社調べ

M&AによりCDMOの能力を拡充

- 部品製造から完成品製造へ
- 設計・開発から製造まで垂直統合
- 新領域に求められる能力の獲得



医療機器CDMOの競争ポジション

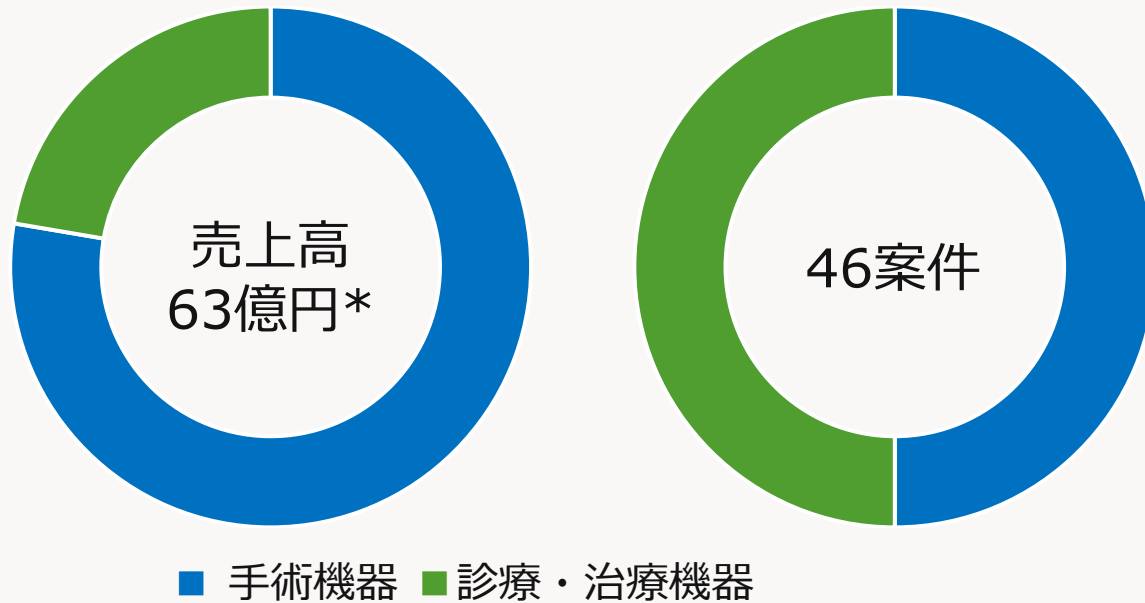


成長を実現するパイプライン案件*を確保

*パイプライン案件：受注済みで、量産に向けて設計・開発を進行している案件

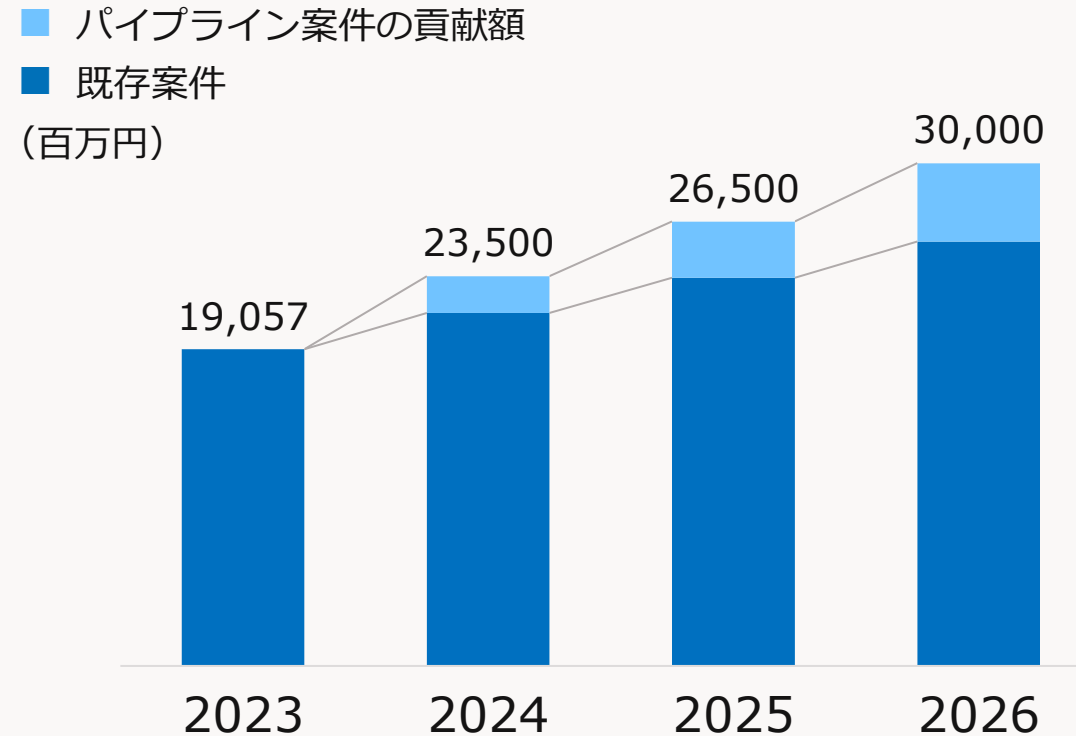
- 医療機器CDMOとしての能力拡大と市場トレンドにより事業機会が増加
- 豊富なパイプラインが中期的な成長を実現

パイプライン案件 (2024年8月時点)



* 量産3年目に予想される年間売上高の合計値

パイプライン案件の売上高貢献



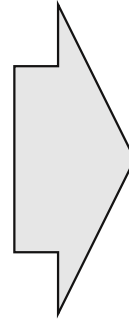
技術の融合がイノベーションを促進

ヘルスケアの重要フェーズに着目

- 診断
- 治療
- 予後
- 慢性ケア

医療の改善に貢献 デジタル手術・スマートデバイス

- 患者のアウトカムの向上
- よりよい医療の提供
- 患者のエンパワーメント



長期的なフォーカス デジタル手術・スマートデバイス

- 手術支援ロボットプラットフォーム
- ヴィジュアライゼーション
- ナビゲーション
- データ収集
- コネクティビティ
- AI分析



高成長セグメントでの 独自ポジショニング

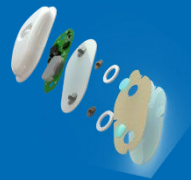
- ナビゲーション技術
- ヴィジュアライゼーション技術
- 小型化
- カスタム対応



既存製品

多様な能力による対応：

- ・ 設計・開発の一貫対応
- ・ 垂直統合された製造技術
- ・ 自動化



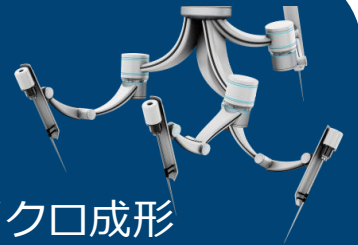
新領域

新技術の獲得：

- ・ 操作性
- ・ 手術用ヴィジュアライゼーション



- ・ マイクロ成形
- ・ 圧力センサー



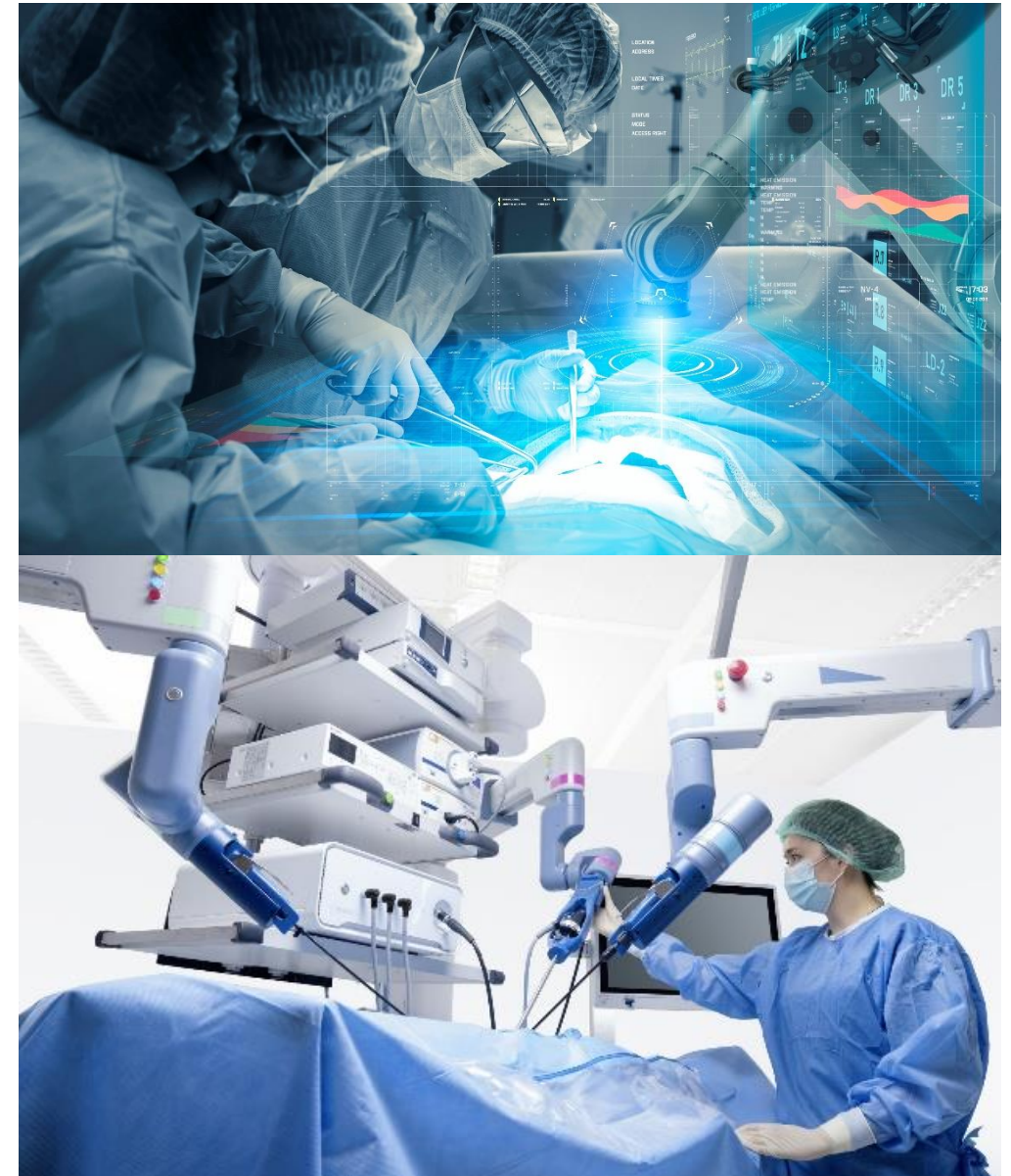
当社の技術融合のフォーカス

- 手術用ヴィジュアライゼーション
- 内視鏡ツールの操作性
- マイクロ成形 / マイクロアッセンブリ
- 精密加工
- センサー
- カスタム対応



NISSHAの独自ポジション

- 顧客実績
 - トップOEMとの取引：トップ10社中8社
 - 3社のOEMにおいては優位的なサプライヤーポジションを獲得
- 専門的トップTierでさらなる成長を目指す
- M&Aを活用したスマートデバイスや手術支援ロボット市場での成長
 - 既存の能力と新技術を融合したCDMOの能力
 - 操作性
 - 小型化
 - ナビゲーション / ヴィジュアライゼーション



本プレゼンテーションに掲載されている情報および決算説明会・カンファレンスで提供される情報のうち業績の目標、計画、見通し、戦略、その他過去の事実ではない情報については、現時点で入手可能な情報に基づいて当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含みます。実際の業績は、経済動向、市場需要、為替の変動などのさまざまな要因によって大きく変わる可能性があります。